

家庭医療の理念

Ian R McWhinney “A Textbook of Family Medicine”より

(1) 家庭医は人間に関わる。この関わりは、健康上の問題の種類によって制限されないし、終点と定義されるものがない。その関わりはその人が健康なときから形成されている。

(2) 家庭医は、病気のコンテキストを理解しようとする。多くの病気はコンテキストの中で見なければ完全には理解することができない。

*注:コンテキストの例えとしてMcWhinneyによる次のような記載があり分かりやすい。『コンテキストの大切さはちょうどジグソーパズルに例えることができます。私たちはしばしば、何を意味するのかわからないジグソーパズルの一片に出会うことがあり、それをともかく眺めます。そしてそれを適切な場所に(全体像というコンテキストの中に)置いてみるとたちどころにその意味が明確になるのです。』

(3) 家庭医は、患者と出会うすべての機会を予防や健康教育の絶好の機会とする。

(4) 家庭医は、診療対象を「リスクを持った人の集団 (population at risk)」として考え、予防医学を実践する。

(5) 家庭医は、自分自身を、健康問題をケアし支援するコミュニティー・ネットワークの一部とみなす。

(6) 理想的には、家庭医は自分の患者たちが住んでいる同じ地域に住むべきである。完全に効果的であるために、家庭医はなお目の届く近隣にいる必要がある。

(7) 家庭医は、本来の「エコロジスト」であるべきである。家庭医は、患者を患者の家で診る。家で起こる人生の大きな出来事に患者の家族とともに立ち会うことが、家庭医にその患者と家族についての多くの知識を与える。

*注:エコロジー (ecology) は、二つのギリシア語の *oikos* (家庭) と *logos* から由来する言葉で、文字通り「家庭の学問」を意味する。

(8) 家庭医は、医療の自覚的な面を重要と考える。これは自分自身の感情に気付くことも含まれるので、家庭医療は自己を省察する医療である。

(9) 家庭医は、医療資源のマネージャーである。家庭医の責任は、限られた資源を患者とコミュニティー全体の利益のために管理することである。